



小幡小学校の取り組み

みんながんばった運動会

校長 茂木伸二
児童 183人

「教育のひろば」とは各学校や幼稚園の特色ある取り組みを紹介するコーナーです。編集委員は、教育委員会の広報委員会に所属する各学校や幼稚園の教員です。

一年生

●ほりこめ たける

ぼくは、うんどうかいで、ときよそうがいちばんこころにのこりました。なぜなら、はじめて四いになったからです。おうちにかえてパパとママに、「がんばったね。」とほめられました。うれしかったです。

●いがり りあ

エイサーがたのしかったです。ママたちがみてくれてうれしかったです。みんなといっしょにやれたのしかったです。二ねんせいになってもかっこよくやりたいです。



がんばった徒競走

二年生

●かとう のえる



元気よくおどったエイサー

ぼくは、五十メートルそうをがんばりました。スタートって言ったとき、ちょっとおくれちゃいました。でもたのしかったです。おうえんもおもしろかったです。

●ほりこめ たける

わたしは、七月エイサーをがんばりました。さいしょはきんちようしたけど、おどっていたらきんちようしなくなりました。たいこをもつて、おどるのがはじめてでしたのしかったです。

三年生

●森田 ひなた

にじをおどって楽しかったです。三・四年生のみんなでダンスのふりつけを考えたりアイテムを作ったりしました。当日見てくれた人がよろこんでくれて、うれしかったです。

●茂原 さき

うん動会の全員リレーが、一位でうれしかったです。スピード&パワーでは、負けてくやしかったです。でも、リーダーを中心に団のみんなできょう力できたと思います。



みんなで考えた創作ダンス「虹」

四年生

●清水 寿華



みんなで作戦を考えた「スピード&パワー」

わたしが運動会で一番楽しかった種目は、スピード&パワーです。校庭を半周走って、なわを引っぱり合うのが好きになりました。来年の運動会も、またやりたいです。

●松野 志音

今年の運動会で一番楽しかったことは、こぎです。四年生で初めてこぎをやったのできんちようしたけれど、とても楽しくえんそうできました。

五年生

●小金澤 遥香

徒競走では、一位でうれしかったです。ソーラン節では、最後のきめポーズするところは、みんな考えて、協力してでき、最後までできたので、とてもうれしかったです。

●吉田 蓮翔

運動会が楽しくできて良かったです。六年生がしっかりまとめたので、来年は、今年の六年生がやったことをまねして、しっかりまとめられるようにしていきたいです。



力強い踊りを披露したソーラン節

六年生

●新井 穂香



たくさん練習した鼓笛隊パレード

六年生は、運動会の中心となり、下級生を引っ張ります。鼓笛の練習もあつたし、毎日運動会の練習でとてもつかれました。でもつかれた分、本番は自分の出る競技を楽しむことができました。本番は、鼓笛が一番緊張しました。最初の鼓笛でもうつかれていただけ、他の競技も十分楽しむことができました。優勝はできなくて、とても残念だったけど、今までで一番の運動会になりました。

提言

確かな学力の定着に向けて

小幡小学校
教頭 富岡 千春



平成二十九年に新学習指導要領が告示され、「社会に開かれた教育課程」「知識の理解の質を高めた確かな学力の育成」「道徳教育の充実」などさまざまな改定が成されました。確かな学力においては、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと」が示されました。学ぶことに関心を持って、さまざまな人との対話や、先哲の考えから、これまでの知識を活用して考え、より深い学びを獲得していく授業の事です。こうした授業を実現するために小幡小学校では、「小幡小

学校授業メソッド」を作成し、全職員で、授業改善に取り組んでいます。このメソッドは、一時間の学習で何を学んだかが実感できるよう「①『めあて』をもとに」「②『見通し』をもとに」「③自分で解いてみよう」「④ともだちと相談しよう」「⑤みんな話し合おう」「⑥『まとめ』をしよう」「⑦問題をといてみよう」「⑧『ふりかえり』をしよう」の八つの学習過程を進めていくものです。主体的に学べるよう指導者と子供たちで話し合っ「めあて」を設定し、これまでの学習を思い出して「これならできそう…」という見通しをもちます。そしてまずは自分一人で考え、その後友達や指導者との対話を通して、「めあて」の答えとなる『まとめ』を見つけていくという授業です。こうした授業改善を第一歩とし、保護者・地域の皆さまにご協力いただきながら、これからの時代を生きる子供たちのための学校を目指していきたいと思えます。